

～「子どもの居場所づくり2018シンポジウム」を 開催しました～

赤い羽根
IBARAKI

平成30年7月19日(木), 牛久市中央生涯学習センターにおいて「子どもの居場所づくり2018シンポジウム」を開催いたしました。

シンポジウムには、既に子ども食堂などの居場所づくりに取り組まれている方々やこれから取り組もうとされている方々を中心に、NPO法人やボラ



ンティア団体, 民生委員・児童委員, 市町村社会福祉協議会の職員など122名のご参加をいただきました。

オープニングとして、子どもの居場所づくりなどを支援する共同募金の助成制度について説明の後、県内の子ども食堂などの概況報告に続いて、日頃から地域において子ども食堂に取り組まれている3つの団体からその活動や課題について報告をいただきました。



○ きらきらスペース 子ども食堂うしくっ子 Sun 代表 諏訪浩子氏

子育てをする親が孤独にならないよう、学習支援や子ども食堂などを実践されています。

【メッセージ】先ずはやってみること。悩んだら仲間が助けてくれます。子どもたちの笑顔が目的であることを忘れずに活動しています。



○ 石岡ハーモニーネット 石岡子ども食堂ふれあいサロン 代表 桜井真弓氏

市内の公民館を利用し、学習支援や高齢者サロンの方々と連携しながら、孤食になりがちな子ども達、高齢者の方々を支援されています。

【メッセージ】子ども食堂に取り組もうと思ったら着手してみること。他の団体に相談するもよし。なんとかなります！

○ 筑西こども食堂 有りの実 会長 谷貝順子氏

孤食をなくすこと、孤食の子どもたちに温かい手作り夕食を提供することを目的に活動されています。

【メッセージ】最初の目的を忘れずに一歩ずつ進むこと。一人ではできないことも仲間がいればできます。仲間は素晴らしい。



○ (コーディネーター)茨城 NPO センター・コモンズ 事務局長 大野 覚氏

県内の子ども食堂などの概況やフードバンク・助成金の活用についてご説明いただくとともに、本シンポジウムをコーディネートいただきました。

課題については運営費などの資金面やスタッフの高齢化・ボランティア確保の人材面など様々ですが、皆さま助成金を活用したり、地元の高校に働きかけボランティアを募ったり、そして何より自分たちが楽しむことにより魅力ある活動を展開されています。

参加者の方々からは、「子ども食堂を通して『居場所づくり』の重要性や必要性が伝わった」「孤食にさせないという3名の思いに感銘を受けた」などのご感想をいただきました。

茨城県共同募金会としましては、これらの活動などを支援するため、これからも皆様に共感を得られるよう共同募金運動に取り組んでまいります。ご協力をお願いいたします。



(当日、フードドライブにご協力をいただいた方々には、この場をお借りして感謝申し上げます。)